

守山の「安全なまち」の魅力を探る

私たちの安全な生活を守るために、とても身近にいるけれど、普段関わることの少ない警察官。今回は「安全なまち」をテーマに守山警察署取材しました。

モリヤマジュニアリポーターは、テーマの検討から現地でのインタビュー、写真撮影、執筆まで、小学生リポーター独自の目線で紹介するコーナーです。

- ① 守山警察署の白井 幹二 警部補
- ② 警察手帳、防刃ベストや警棒、盾などを装備する署員
- ③ 鑑識体験
- ④ 警察車両の見学



まちの安全や警察の仕事、いろいろ教えてくれてありがとう。

毎日すごく重い装備を着けて仕事をしているんだね。

鑑識の方法は現場に合わせて何種類もあるなんてすごいね。

今回のジュニアリポーター



三觜 万里子リポーター

いぬがい たくみリポーター

平成10年に金森町に新築移転された守山警察署は、守山市と野洲市を管轄しています。管内には4交番7駐在所(守山市内は3交番2駐在所)を設置して、警察官が日夜パトロールや防犯啓発などで市民の安全な暮らしを守る活動をしています。

まちを走るパトカーや制服を着た警察官の姿を見ることはあるけれど、落とし物を届けに近所の交番に行ったことがあるくらいで、警察署がどんな場所なのか、警察官がどんな仕事をしているのか、本当はよく分かっていませんでした。ジュニアリポーターの子どもたちは、少し緊張しながら守山警察署を訪れ、交通課や刑事課など捜査官のいる部屋を見学しました。市民の安全を守り悪い人と戦うための装備品を見せてもらったり、鑑識作業を体験したり、パトカーの秘密やいろいろな役割の警察官がいることも教えてもらいました。取材を通して、警察と市民と一緒に「安全なまち」を作っていることを学んでいました。



パトカーの中は秘密がいっぱいでした。

警察官について

犬養 拓海リポーター

守山警察署は、野洲市もパトロールする少し大きめの警察署です。守山署は警察官の間でも人気の警察署で、その理由は市民が協力的、道がきれい、災害が少ないなどから人気があるそうです。警察署の中でもいくつかの部や課があることで、例えば警備課。警備課の仕事は、警察官のサポート、パトカーの管理、電話や来た人の対応などがあります。ほかにもいろいろの課があり、それぞれが署を支えているようです。

交番の一日

三觜 万里子リポーター

警察は、皆さんが知っているとおり、地域の安全を守るものです。その中でも一番身近な交番の一日の例をのぞいてみましょう。

勤務を始めて、パトロール、地域の皆さんの家などを訪問して、犯罪の予防などの連絡をする「巡回訪問」、交番前で立ち番をしたり、夜間パトロールをするなど、さまざまなことをしています。警察官は、少し怖いイメージでしたが取材を通して「優しいんだな」と実感しました。

憧れです！警察官

三觜 万里子リポーター

私は、下校中にパトカーがゆっくり走行しているのを見ました。これは事件・事故の防止など、さまざまなこと目配り巡回しているそうです。学校では、私が1年生の時に交通安全教室で横断歩道のわたり方など、事故を防ぐ方法を教わった覚えがあります。

事件・事故件数がゼロの日は無いと聞いたので、それを取り締まっている警察官がすごいなと思い、がんばってほしいと思いました。

自分でできる防犯

犬養 拓海リポーター

警察官の仕事は、犯罪者をつかまえることですが、もちろん犯罪は起きてほしくないと考えています。だから犯罪が起きないように、また起きても大事にならないように、皆さんが普段からできる防犯を紹介します。

1つ目は、家の戸締まりや自転車のかぎを確認することです。2つ目は、貴重品はしっかり保管することです。3つ目は怪しいと思ったら少し離れて、躊躇なく通報することです。